

# 神戸大学医学部附属病院

## 肝胆膵外科

### 指導担当医（役職）

津川 大介（特命講師）

### 実習概要

#### 実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

#### 概要

肝胆膵外科の主治医団の一員として2週間あるいは4週間過ごします。オーダー（投薬）は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人当たり患者さんを2～3人担当し、主治医団の回診、手術、術前後のICや検査にも同行し、治療計画を立案します。カンファレンスでは研修医とともに症例のプレゼンをしてもらいます。

#### 実習スケジュール 2週間コース、4週間コースともに共通（※演習は期間のうちに1回行う）

1. 主治医団としての実習：毎朝夕、担当症例を診察し、病状を把握する。検査、治療、ICにも同行する。主治医団担当の患者さんを分担して複数（約3人）担当する。
2. 消化器外科カンファレンス（火曜8時20分から）：食道胃腸外科と合同カンファレンス。
3. 症例カンファレンス（月曜8時20分から）：担当症例のプレゼンを行います。
4. 文献抄読会（水曜8時20分から）：外国文献抄読会を聴講します。
5. シミュレーター実習：腹腔鏡用のDry boxを用いて結紮縫合などのトレーニングを行います。ICC RCのロボット（hinotori）の実習等も希望があれば調整可能です。
6. 緊急手術の見学：可能な範囲で参加。

7. 外来見学・および初診外来の問診：希望者。

8. 検査見学、実習：腹腔穿刺、術後ドレーン交換、イレウス管挿入などの処置があれば、主治医団とともに処置に参加してもらいます。また腹部エコー検査は随時見学可能です。希望者には腹部エコー実習の指導も行います。

9. 担当症例の手術記録と病歴要約を作成し提出してもらいます。手術記録ではスケッチが必須となりますので指導医に相談しながら完成させてください。

## 学生へのメッセージ

臨床実習3では、実臨床に即した経験をしてもらいます。担当患者さんの術前、手術、術後を管理することで肝胆膵外科の醍醐味を経験してもらいます。腹腔鏡のシミュレーター、ロボット支援手術のシミュレーターでの実習や、腹部エコー検査のトレーニングなど様々な手技も経験できるように考えています。肝移植、膵島移植などについても興味がある学生さんには個別でレクチャーを行います。

留学経験者も多く在籍しており、将来のキャリアプランについての相談なども随時行います。

有意義な時間となるよう我々も頑張りますので、肝胆膵外科での実習を是非楽しんでください。